講義計画書

（シラバス）

2026 年度

第 34 期生

【２年次】

≪抜粋版≫

宮本看護専門学校

学籍番号	氏名

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	基礎看護学	配当時期	2年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	看護技術Ⅸ	単位数	1単位	岩田　彩華（30）
教育内容	看護過程	時間数	30 時間（15 回）	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標
1. 看護過程の位置づけと意義を理解する
2. 問題解決技法と看護過程の相違を理解する
3. 看護過程の構成要素とそのプロセスを理解する
4. ペーパーペイシェントに沿った看護過程を展開する

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/10	3 限	1. 看護過程とは 2. 看護師としての看護過程を活用する目的 3. 看護過程を展開するための能力 ①意思②理論の理解③基本的知識・技術 ④クリティカルシンキング能力 ⑤コミュニケーション能力 4. 看護的視点の重要性について(看護と医学の相違)	講義	岩田
2	4/10	4 限	1. 看護展開とは 2. 看護過程の概要　5段階 ①アセスメント情報収集→分析(解釈・判断)・統合・推論 ②看護診断　③計画　④実施　⑤評価 3. 看護記録について	講義	
3	4/14	1 限	アセスメント① 1. アセスメントとは　2. アセスメントを効果的に行うためには 3. 情報収集の目的・種類・方法　4. 分析(解釈・判断・推論)とは	講義 GW	
4	4/16	2 限	アセスメント②　～情報整理～ 1. スクリーニングアセスメント　2. フォーカスアセスメント 必要な情報とは何か(不足情報の特定)	講義 GW	
5	4/16	3 限	アセスメント①　～情報整理と分析～ 課題を元にGWを実施し、アセスメントを深める ヘンダーソン 14 項目を元に充足・未充足を特定	講義 GW	
6	4/20	1 限	アセスメント③　～分析～ 事例を元に展開　GW発表会 1. 仮の看護問題の特定	講義 GW	
7	4/22	3 限	看護診断① 1. 看護診断とは　2. 看護診断過程　3. 関連図とは 4. 関連図の種類と役割(病態関連図・患者関連図) 5. 病態関連図とは	講義	
8	4/22	4 限	看護診断② 1. 病態関連図についてまとめ　2. 患者関連図とは 3. 患者関連図作成	講義 個人学習	
9	4/23	1 限	看護診断③　～看護問題の明確化と統合～ 1. 看護問題を特定するための方法と関連性 問題(P)/関連・危険因子(E)/症状・徴候(S) 2. 看護診断の種類と活用方法　ヘンダーソン・NANDA-I 3. 適切な看護診断を行うために必要なこと	講義	
10	4/23	2 限	看護診断④　～看護問題の特定～ 病態条件・常在条件・関連する項目・予測　など ※自分が考える優先順位が高いと思うものとは	講義 個人学習	
11	4/27	1 限	計画① 1. 看護計画とは　2. 優先度の決定　・マズローなど 3. 問題リスト　4. 成果と指標とは　方法とポイント 5. 介入計画とは　　具体性の重要性について	講義 個人学習	
12	4/27	2 限	計画②　実施するための計画の追加・修正	GW	
13	4/28	2限	実施・評価 宮本さんの看護問題が改善するための看護	演習	
14	4/30	2 限	〃	〃	
14.5	5/11	2 限	看護過程を通して　まとめ		
15	5/28	1 限	終講試験(45 分)		

備考　※　1年次の基礎Ⅱファイルを持参すること

評価方法
筆記試験、課題、　事前課題　含める

使用するテキスト
医学書院　系統看護学講座　基礎看護学「基礎看護技術Ⅰ」、学研メディカル　「看護過程に沿った対症看護」
ヌーヴェルヒロカワ「看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践」
ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	老年看護学	配当時期　2年次前期	担当者（担当時間数）
科目名	援助論Ⅱ	単位数　1単位	岡野二三男（24） 看護師臨床経験有
教育内容	高齢者の生活機能を整える 健康逸脱からの回復を促す 治療を必要とする高齢者の看護	時間数　30 時間	土子　卓也（6） （宮本病院）

科目全体のねらい
高齢者の生活機能を整える看護の実際（評価基準や具体的な援助方法など）について理解する
症候のアセスメントと看護の実際について理解する
身体疾患のある高齢者の看護と治療を受ける高齢者の看護の実際について理解する

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	7/6	3 限	日常生活を支える基本的活動 ①基本動作と環境のアセスメント②転倒のアセスメントと看護③廃用症候群のアセスメントと看護（基本的な ADL の評価指標：バーセルインデックス・手段的 ADL の評価指標：IADL 尺度など）	講義 GW	岡野二
2	7/13	2 限	1．食事・食生活 ①高齢者における食生活の意義②高齢者に特徴的な変調③食生活のアセスメントと支援（マズローによる自己実現理論と食事の関係性・摂食嚥下過程の 5 期モデル・栄養スクリーニング・高齢者のエネルギー必要量、水分摂取量、タンパク質推奨量など）	講義 GW	
3	7/21	2 限	排泄 ①高齢者の排泄の基本②排尿障害のアセスメントとケア③排便障害のアセスメントとケア（超音波暴行容量測定装置・ブリストル便性状スケールなど）	講義 GW	
4	9/8	3 限	清潔 ①清潔の意義②高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題③清潔のアセスメントと援助（清潔ケア実施上のリスクなど）	講義 GW	
5	9/16	4 限	対象の状態にあった清潔援助（アセスメント・計画・実践）	演習	
6	10/5	4 限	生活リズム ①高齢者と生活リズム②高齢者に特徴的な変調③生活リズムのアセスメントとケア（健常人の夜間睡眠時間の加齢変化・不眠の原因・睡眠障害をきたす薬剤など）	講義 GW	
7	10/7	4 限	コミュニケーション ①高齢者のコミュニケーションと関わり方の原則②コミュニケーション能力のアセスメント③高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーション方法（コミュニケーション能力のアセスメントと観察のポイント・失語症と構音障害の鑑別のポイントなど）	講義 GW	
8	11/5	2 限	1.セクシュアリティ ①高齢者におけるセクシュアリティ②高齢者ケアの場における性に関する問題 2．社会参加 ①高齢者の現状と目指す社会の方向性②地域における高齢者の社会参加	講義 GW	
9	1/7	2 限	症候のアセスメント ①発熱②痛み③掻痒（発熱とうつ熱の違い・疼痛スケール（NRS・フェイススケール・日本版アビースケール）など）	講義 GW	
10	1/27	1 限	症候のアセスメント ④脱水⑤嘔吐（水分の供給と排出経路の目安・嘔吐の原因・誘因のアセスメントなど）⑥浮腫⑦倦怠感（浮腫の分類など）	講義 GW	
11	1/28	3 限	症候のアセスメント　GW 発表	GW	
12	1/28	4 限	高齢者の生活機能を整える看護、健康逸脱からの回復を促す看護・まとめ	講義	
13	9／16	3 限	身体疾患のある高齢者の看護 ①脳卒中②心不全③糖尿病④慢性閉塞性肺疾患	講義	土子
14	9／25	3 限	身体疾患のある高齢者の看護 ⑤パーキンソン病⑥肺炎⑦骨粗鬆症⑧骨折	講義	
15	10／16	3 限	治療を必要とする高齢者の看護 ①検査を受ける高齢者の看護②薬物療法を受ける高齢者の看護③入院治療を受ける高齢者の看護（退院調整・退院支援など）	講義	
	2／2	2 限	試験・解説		

備考

評価方法　筆記試験　課題等

使用するテキスト　医学書院　系統看護学講座　老年看護学 「老年看護学」

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	小児看護学	配当時期　　2年次後期	担当者（担当時間数）
科目名	小児看護学概論	単位数　　1単位	野原恵美（30）
教育内容	概論・保健	時間数　　30時間	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標

1. 小児看護の対象となる子どもと家族の特徴と取り巻く環境について理解する
2. 小児の特性および小児看護の役割と小児医療における子どもの権利と倫理を理解する
3. 小児各期における子どもの成長・発達について理解することができる
4. 小児期各期に生じやすい健康課題と疾病の予防、健康の維持・増進に向けた支援について理解する
5. 子どもと家族を取り巻く環境を理解し、その子の健やかな成長・発達を支援するための多職種連携や保健・医療・福祉・学校の役割や動向を理解する

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	4/14	2限	小児看護とは 1） 子供の最善の利益を目指した看護（倫理） 子どもの権利 2） 小児看護の対象・目的 3） 成長発達の基本原則（評価） 4） 成長発達に影響する因子 小児看護の変遷と課題 子どもと家族の特徴とアセスメント 子どもの出生と死亡	講義	野原
2 3	4/17 5/8	4限 1限	新生児期・乳児期の成長発達課題	講義	
4 5	6/1 6/3	4限 1限	幼児期成長発達課題 遊びの意義、基本的生活習慣の確立、事故防止、生活リズム 睡眠、食生活、食育	講義 ワーク	
6 7	6/23	1限 2限	幸田保育園見学 乳幼児期の子どもと子どもを取り巻く環境を理解する	講義 ワーク	
8 9	6/24	1限 2限	新生児・乳幼児期のまとめ 幸田保育園見学 乳幼児期の子どもと子どもを取り巻く環境を理解する 幼児視野体験　子どもの KYT	幸田保育園 見学 講義・ワーク	
10 11	6/29	1限 2限	学童期・思春期の発達課題	講義 演習	
12	7/2	4限	子どもと家族を取り巻く社会資源の活用 セルフケアと保健教育 セルフケア理論 齲歯予防、近視の予防、生活習慣の予防、問題行動の防止、 子どもの感染症と予防 予防接種・学校感染症 児童福祉・母子保健・学校保健学童期・思春期成長発達と課題	講義 ワーク	
13 14	7/6 7/6	1限 2限	小児期における成長・発達の特徴 （神経系、運動器系・感覚器系、循環器系、免疫系、呼吸器系、消化器系、代謝系、泌尿器系、体温調整、大泉門・小泉門、生歯） （認知・思考、社会性・道徳性、コミュニケーション・言語、情緒、アタッチメント・分離不安） 成長・発達のアセスメント	講義 ワーク	
15	7/7	1限	家族の特徴とアセスメント　ファミリーセンタードケア	講義	
16	7/14	1限	終講試験・まとめ	試験	

評価方法

筆記試験、見学時態度、レポート課題100点

使用するテキスト

1. 医学書院　系統看護学講座　小児看護学　小児看護学概論　小児臨床看護総論　看護学概論

参考文献

1. メジカルフレンド社　看護実践のための根拠がわかる　小児看護技術　第3版

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	母性看護学	配当時期　2年次後期	担当者（担当時間数）
科目名	母性看護学概論	単位数　1単位	後藤　久美子（15）
教育内容	概論・保健	時間数　15 時間	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標

・母性の対象について一生涯を通して捉えることを学ぶ

・リプロダクティブヘルス/ライツの概念から、母性の役割を広く捉え、健全なライフサイクルを送るための看護について学ぶ

1. 母性の概念と母性各期の特徴を理解し、母性看護の役割について理解する
2. リプロダクティブヘルス/ライツの意義を理解する
3. 母性各期の健康に影響を及ぼす因子を理解し母性の健康維持・増進・疾病予防のための看護を理解する
4. 母性の対象を取り巻く保健医療福祉をめぐる社会の変遷と現状を理解する

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	6/1	3 限	1. 母性看護の基盤となる概念 1）母性とは 2）女性のライフサイクル 3）母性の発達	講義	後藤
2	6/10	3 限	4）性・セクシュアリティ 5）倫理	講義	
3	6/22	3 限	2. 社会の変遷と現状 1）歴史 2）統計 3）母性看護の場・職種 4）法律・施策	講義	
4	6/22	4 限	3. 母性看護の対象理解 1）女性生殖器 2）妊娠と成功に関する心理、 3）ペリネイタル・ロス 4）事例検討	講義	
5	9/16	2 限	4. 女性のライフステージにおける看護 1）各期の特徴 2）各期の健康課題	講義	
6	9/18	3 限	5. リプロダクティブヘルスケア 1）性感染症 2）家族計画 3）人工妊娠中絶 4）避妊方法	講義	
7	9/18	4 限	5）喫煙女性 6）DV・性暴力 7）児童虐待 8）在日外国人の母子保健	講義	
8	9/25	2 限	終講試験、まとめ	試験	

備考

評価方法

筆記試験 100 点

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座「母性看護学概論」

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	母性看護学	配当時期　2年次後期	担当者（担当時間数）
科目名	母性援助論Ⅲ	単位数　1単位	木村　千代　（2）
教育内容	産科病棟管理 母性看護技術 看護過程	時間数　15 時間	（JA とりで総合医療ｾﾝﾀｰ） 後藤 久美子（13） 看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標

1. 妊産婦に関わる看護師、助産師、保健師の役割および多職種との連携を含めた看護援助が理解できる
2. 母性看護に特有な看護技術を習得する
3. ウェルネス志向型の母性特有な看護展開について学ぶ

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	11/11	4 限	助産師外来・病棟の管理	講義	木村
2	3/5	1限	沐浴デモンストレーション（全体） 妊婦健診演習 新生児の身体計測とバイタルサイン測定演習	演習	後藤
3	2/4	1 限	ウェルネス型看護過程とは 母性の看護過程の特色	講義	後藤
4	2/5	3 限	妊娠期のアセスメントと看護過程 分娩期のアセスメントと看護過程	講義	
5	2/10	3 限	産褥期のアセスメントと看護過程	講義	
6	2/12	2 限	新生児のアセスメントと看護過程	演習	
7	2/26	1限	帝王切開後のアセスメントと看護過程		
8	3/8	1 限	試験・レポート提出/解説		

備考

評価方法

筆記試験20点　課題レポート80点

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座　母性看護学「母性看護学各論」、
南山堂　根拠がわかる母性看護過程

参考文献

（実務経験のある教員等による授業科目）

専門分野	看護の統合と実践	配当時期	2年次後期	担当者（担当時間数）
科目名	看護研究の基礎	単位数	1単位	高城　利恵（30）
教育内容	ケースレポート	時間数	30 時間	看護師臨床経験有

科目全体のねらい・到達目標

1. 研究の必要性・重要性を理解する
2. 研究方法の種類を理解する
3. ケース・レポートの意義と特徴が理解できる
4. ケース・レポートの計画を立案できる

回	日	時間	学習内容と成果	方法	担当
1	12/7	2 限	1. 看護研究とは　ケースレポートの意義と特徴	講義	高城
2	12/21	2 限	2. 茨城県看護協会　看護研究学会参加		
3	学会参加				
4	↓				
5					
6	学会参加				
7	2/5	2 限	3. 学会参加後の意見交換		
8	2/10	1 限	4. ケースレポート計画書の作成		
9	2/10	2 限	5. ケースレポート作成		
10	2/24	2 限			
11	2/24	3 限			
12	3/1	1 限	6. 文献検索（図書館学習）		
13	3/1	2 限			
14	3/3	1 限	7. プレゼン資料作成		
15	3/10	1 限			

備考

評価方法

ケース・レポートの評価表に則り評価する

使用するテキスト

医学書院　系統看護学講座　別巻「看護研究」

参考文献